

「ことぶき大学交流会」・・・高齢者の皆さんとの楽しい対話に学ぶ！

9月4日(水)午後、市ことぶき大学の90余名の学生をお迎えし、本校1,2年生との世代間の交流が行われました。11グループに分かれ、各々、ことぶき大学生7,8名と本校学生5,6名による活発な意見交換が2時間近くにわたり進められました。

学生にとっては、祖父母等高齢者との身近な触れあいの機会が少ない傾向の中、医療現場では高齢の患者様が増えていることから、貴重な体験交流の場となりました。

ことぶき大学生の皆さんからは、孫のような年齢の学生に対し、これまでの人生を振り返って仕事、趣味・特技や恋愛・結婚、自慢の話や奉仕の精神、そして看護学生への期待や励ましの言葉などがありました。本校学生は予想以上の楽しさを味わい、貴重なエネルギーを頂いたようで、このような機会の継続を望む感想が多く聞かれています。

本校学生の感想より (多くの感想の中から一部を紹介します。)

- ・ 普段話すことのできない世代の方から歴史の流れや健康増進のことなどを聞き、沢山のことを学びました。また、ことぶき大学に入ろう、パソコンをしようと踏み出す力がすごく、見習わなければと思いました。とても楽しく、ありがとうございました。(1年)
- ・ とても楽しかったです。大学生の皆さんのパワーに圧倒され元気をもらいました。看護師になるため、今日のお話を忘れず勉強、実習に精進していきたくと思います。(2年)
- ・ 大学の話、看護学校の話をしていく中で少しずつ打ち解けていきました。最後の方には結婚の話など、これからためになる話を聞かせていただき良い交流ができました。(1年)

市内施設見学

その

* 6 / 4 (火) 実施 感想文の一部抜粋を連載

環境衛生センターは、市内の生ゴミを処理し堆肥にするところです。(略)開設当初は近隣の住民から反対を受けました。しかし何度も説明会を開き、様々な仕掛けを利用し、臭いを出さない処理方法で行うことで了承を得ました。(略)焼却炉は無くほとんど微生物処理し、トウキビを原料としたゴミ袋を作るなど地球に優しいセンターです。(略)どの施設も市民のために様々な工夫がされていました。そのため他の市が行っていない取組を見ることができ、すごく新しい刺激になりました。私も今後さらに富良野市民として色々な行事に参加したりして地域貢献して行きたいと思います。1年 小山有紗

(略)初めて訪れた施設ばかりでした。演劇工場ではたくさんのこだわりと工夫が感じられて、実際に演劇を観に行きたいと思いました。プロと認められた人しか入ることのできないグリーンルームに入ることができ、とても貴重な体験をさせていただきました。それぞれの施設が健康増進の場であったり、人と人とのふれあいの場であったり、市民のことを考えて作られた施設でした。自分も地域社会に関心を持ち、イベントやボランティア活動などに積極的に参加していきたいと思いました。1年 竹田 歩

・・・ SCHEDULE ・・・ 10 / 5 ~ 11 / 16 の行事・動向 (含終了)

10 / 5 (金) 2年成人 実習終了 10 / 10 (木) 11 (金) 1年看護技術試験

10 / 15 (火) 3年実習6クール目開始 (~ 11 / 1 金)

10 / 19 (土) 3年国家試験模擬試験 (アカデミー)

10 / 25 (金) 避難訓練

11 / 6 (水) 7 (木) 3年ケース・スタディー発表会

11 / 11 (月) 1年基礎実習 開始 (~ 11 / 29 金)

11 / 12 (火) 本校推薦入学試験 11 / 14 (木) 16 (土) 3年生研修旅行

耳よりヘルシー HEALTHY トピックス

望ましいストレス発散を・・・ 「感情的な行動では解決しない!」

学校、職場や家庭、地域の中で、人間は誰でも様々な課題や問題を抱えており、耐え難いストレスをため込む場合も珍しくありません。最近、“悪ふざけ、ウサ晴らし”と呼ぶには度の超えた「いたずら」をし、ネットコミュニティに投稿する若者の行動が問題になっています。感情に任せた行動は、一時スカッとしても結局は何も解決しない上、取り返しのつかない責任や社会への大きな迷惑にも発展します。辛いストレスは、我慢し過ぎず、まず言葉で誰かに伝え、現実的な解決策を考えることが何より。話すだけで気持ちが軽くなることを忘れずに! <参考:道新ふわっとライフ 香山リカH25.8.27>

++++ あ・ん・て・な ANTENNA +++++

「健康寿命の延伸」が国の重要な保健医療施策に!

国が6月に公表した「日本再興戦略」では、日本に国際的強みがあり世界に先駆けて解決するとの“戦略市場創造プラン”の4テーマの先頭に『国民の「健康寿命」の延伸』が位置付けられた。2030年の具体的な社会像として、健やかに生活し老いる 世界最先端の医療を受ける 良質な医療・介護による早い社会復帰~を目指す。健康な生活は、個人の責任と努力によるものだが、保健医療施策の進展による医療・看護の一層の発展・向上が欠かせない。(参考:週刊保健衛生ニュース「ヘルスアイ」2013.7.8)

ささやき S & T ・・・ 学生の、教員の、みんなの声

S: 成人 の実習に行き、初めて実習で看護過程の一連を行いました。その中で自分の今後の課題を知ることができました。今後、学内学習の中で学びを深めていきたいです。(2年 Y.S) S: 技術試験が終わり、自分の課題がよくわかりました。11月には3週間の実習があるので、それまでにしっかり練習したいと思います。実習で多くのことを学べるよう頑張りたいです。(1年 千財沙樹)

T: 先日今年初の雪が・・・。富良野に住み十数年、最も早い雪の到来に昨今の異常気象への不安が強まりましたが、窓の外には冷たいみぞれ雪と戯れる学生達の姿・・・踏みしめた「初雪」の文字に元気を貰いました。(教員 渥美考子)

* 本校 H24 年度「自己点検・自己評価のまとめ」を市HPに掲載しましたのでご覧下さい。